

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

黙祷 マルコ 2:22 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。

*賛美 …… 9番 聖なる、聖なる、聖なるかな

*交読文 …… 53番

*使徒信条 …… 会衆一同

*頌栄 …… 175番 み霊よわれ歌う時

礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:朴執事 天声:小林伝道師

賛美 …… 305番 春風そよふごと

メッセージ …… 主から極上のものが備えられる人とは(ヨハネ 2:1-11)

御言葉を適用する祈り …… 会衆一同

賛美 …… 512番 主よ、わが主よ

幸せと成功の宣言 …… 会衆一同

献金感謝の祈り …… パスター

報告 …… 友利修・しのぶ兄妹が、7/7 ご結婚されました。おめでとございます。
コーエン夏季講義が7/11～15の間あります。その間の Youtube 配信はありませんが、祈禱会は通常通り行っております。

*主の祈り …… 会衆一同

*祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____よ、わたしの教を忘れず、わたしの戒めを心にとめよ。そうすれば、これは____の日を長くし、命の年を延べ、____に平安を増し加える。いつくしみと、まこととを捨ててはならない、それを____の首に結び、心の碑にしるせ。そうすれば、____は神と人との前に恵みと、誉とを得る。心をつくして主に信頼せよ、____の知識にたよってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主は____の道をまっすぐにされる。____を見て賢いと思っはならない、主を恐れて、悪を離れよ。そうすれば、____の身を健やかにし、____の骨に元氣を与える。____の財産と、すべての産物の初なりをもって主をあがめよ。そうすれば、____の倉は満ちて余り、____の酒ぶねは新しい酒であふれる。(箴言 3:1-10)

イエス様が、公生涯で一番最初に行われた奇跡は、ガリラヤのカナで行われた「結婚」の場面であった。聖書は結婚ではじまり(創世記 2 章)、聖書の終わりも結婚で締めくくられる。そして奇跡のはじまりも、結婚である。カナという地名は「情熱」「嫉妬」「所有」を意味するが、主は、情熱をもって結婚を特別扱いされる。それは、主は、最終的に神と人とが永遠に住むという、永遠の結婚生活をプランニングしておられるからだ。(黙示録 21 章以降) 最初の人類に、罪が入ってしまった時、人のあらゆる営みは呪われてしまったが、そんな、呪われてしまった人類を救う「福音」のはじまりは、結婚の回復だった。その次第がヨハネ 2 章にある。

ガリラヤのカナで婚礼があり、そこにイエス様も招かれるのだが、その宴の途中、ぶどう酒が尽きてしまった。イスラエルの結婚式は、飲食も、音楽も、装飾も、大変ゴージャスであるので、宴がたけなわの時に、ぶどう酒が尽きてしまうのは、大きな失態である。そこで母マリヤは、イエス様に「ぶどう酒がありません」と言うのだが、イエス様は母に向かって、「婦人よ、あなたはわたしと、何の係わりがありますか」と言われた。これは、どういう事か。もし私達が、イエス様に対して、上から目線で「この問題を、これこれの方法で解決してほしい」と、イエス様に”指示”するなら、イエス様は関わって下さらない。主は、私達が困った時に助けてくれる「しもべ」ではないからだ。逆にイエス様こそ「主」であり、私達は「従」である。そこを逆転して、イエス様に係わろうとするなら、イエス様は私達にも「あなたはわたしと何の係りがありますか」と言われるのだ。

母マリヤは、その言葉を聞いて、しもべ達に言う。「この方があなた方に言いつける事は、何でもして下さい。」主が言われる事を何でもする…これこそ主の前に正しい態度である。 その場所にはユダヤ人の「きよめのしきたり」によって、80リットルから120リットル入りの石の水がめが六つ置いてあった。これらは律法上、汚れてしまった際に、その水を浴びてきよくなるためのものである。主は、そのきよめの器を用いられる。主は、人が罪の飲み食いやりたい放題にして、カラになった財布や酒瓶を満たすお方ではない。きよめが無いところに、主の奇跡は無いのだ。主が言われたのは、古い皮袋には新しいぶどう酒は入れない、そんな事をすれば、両方だめになる、という事だった。だから私達は、主の新しいぶどう酒を入れる「新しい皮袋」となるために、徹底して悔い改め、清められた器となり、そして、主の御言葉に従順するべきである。イエス様は、私達の側でできるだけ「悔い改め」という「きよめの水」を、からっぽになるまで使い尽くす時、その時にこそ、その空っぽの「器」に、新しいぶどう酒を満たしてくださるのだ。そしてその時、主が満たして下さる新しいぶどう酒は、世のあらゆる事に精通した者さえ、うならせるほどの、最高のものである。

イエス様は彼らに言われた。「水がめに水を満たしなさい。」 それでもべ達は、イエス様が言われた通りに、水がめの口いっぱいになるまで水を満たした。するとイエス様は言われる。「さあ、今くみなさい。それを、宴会の世話役に持っていきなさい。」 この、宴会の世話役とは、宴会や世の諸々の事について経験も知識も豊富な人であるが、彼がそれを味わってみると、それは、極上のぶどう酒であると認定した。彼は、物事をなるべくおトクに、安く、また、どうすれば陳腐なものを極上であるかのように見せられるか、そういった方法をアドバイスするが(10 節)、きよめと従順に徹した人に、イエス様が用意して下さるものは、そんな「まがいもの」ではない。上から下まで、世の誰もがびっくりする程の、極上のものである！ それを得るためには、きよめの後に、イエス様の言葉に、はじめから終わりまで従順する事である。イエス様が「縁まで満たしなさい」と言われたからには、縁まで満たされるまで、「従順」と「祈り」の水くみをし続ける事である。

私達は何より、イエス様をこそ、私達の結婚に招き、仕事に招き、生活のあらゆる面へと、招くべきであるが、もし、イエス様の言葉を捨てて、自分のやりたい事や、伴侶の言葉のほうを優先させるなら、主が用意される極上のものは、味わえない(ルカ 14:15-24)ばかりか、地はいばらを出し、汗水流して土地を耕さなくてはならなくなり、ついには虚しい”ちり”となって、サタンへのえきまにされてしまう(創世記 3 章)。極上なお方は、ただお一人、主イエス・キリストである。そのお方の言葉に従って、きよめの水(罪の告白と悔い改め)が使い果たされるまで使い果たし、また、主の言葉への従順の水くみを、縁いっぱいまで満たし、主の極上のぶどう酒で満ち溢れる私達でありますように！ イエス様のお名前によって祝福します！

